

一般財団法人品川ビジネスクラブ 令和7年度 事業報告書 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

Ⅱ - 1 財団事業

1. ネットワーキング Shinagawa 形成事業

・産業団体連携促進会議の運営

東京商工会議所品川支部、品川産業協会、同友会品川支部、しな job、五反田バレー、区商店街連合会などの事務局レベルが集まる会議を年2回開催。各種イベントのPRや友好的なネットワーク構築を協議

・品川ビジネス功労賞 2025 の実施

9月に審査会を実施し、多角的な価値創出を行う区内企業10社を選定。10月にはSHIP多目的ルームで表彰式・祝賀会を開催し、財団HPへの企業紹介ページ作成を通じた周知支援も実施。

・東商品川支部・日本政策金融公庫と連携した経営相談

月1回、SHIPにて専門相談窓口を設置。法人設立、マル経融資・創業融資の審査基準など、資金調達を含む実践的な相談対応を実施

・地域産業団体等との共催・後援セミナーの開催

- (1) 中小企業家同友会品川支部との初共催で「生成AIと経営の未来」セミナーを開催。21名が参加しChatGPTの実践的導入をグループワークで学習
- (2) NPO法人品川女性起業家交流会（しな job）主催「大講演会」を後援。
元全日本バレー代表の三屋裕氏を招き、アスリートや経営者の視点からのリーダーシップ術を提供

・東商品川支部共催で「ビジネスシーンの印象戦略」セミナーを実施

22名が参加。顔つき分類に基づく印象管理や服装のアドバイスをを行った。

2. 海外人材活用支援事業

・モンゴル高専就職者定着支援事業

品川区の「インターンシップから就職までの一貫支援」を補完し、区内企業に就職したモンゴル高専OB・OGを対象に「日本で働くためのライフプランとお金の基礎研修」を実施。・22名が参加し、日本での生活に直結するお金の使い方や将来設計に関するフォローアップを行い、区内企業への定着・活躍を促進

3. 創業・経営支援事業

・ビジネス創造コンテスト（2025）の実施

- （1）本年度より運営委託先をプロポーザルにて選定し、名称・テーマ・審査体制等をリニューアルして実施
- （2）一般枠（テーマ：社会課題を解決するためのビジネスアイデア）に 251 件、区民枠（小学生以下の部、中学生・高校生の部）に合計 115 件の応募を獲得
- （3）一般枠の面接審査通過者には、コグニティ㈱による AI を用いた「プレゼン・ピッチ分析フィードバックレポート」の提供およびワークショップを実施し、ピッチスキルの向上を支援
- （4）最終審査および表彰式を開催。一般枠の最優秀賞（品川区特別賞）は、角住由美氏（アイデア名：障がい者・高齢者の杖生活をちょっと快適にする新事業）が受賞。区民枠もそれぞれ小学生の部、中高生の部から 3 名が受賞
- （5）表彰式後には交流会を開催し、起業家、審査員、協賛企業（第一三共、城南・さわやか信用金庫等）との事業化に向けたネットワーク構築の場を提供

・フォローアップ支援

- （1）令和 5 年度奨励賞の「㈱旗ヶ丘ネイチャー研究所」に対し、事業フェーズの進行（商品化・販路拡大）に合わせた IM による定期的な伴走支援を開始
- （2）令和 6 年度受賞者によるヒアリ対策「キラ星の砂」について、SHIP 工房を活用した容器の 3D データ造形や素材選定を技術支援
- （3）令和 6 年度ファイナリストの「AI フレイルバンク “AILE”」について、区高齢者地域支援課や社会福祉法人福栄会へ繋ぎ、区内施設での体力測定実証実験を実現
- （4）令和 7 年度の区民枠受賞者に対し、創業支援施設見学ツアーを実施し、レーザーカッターで製作したアクリル表彰状を贈呈して起業への関心を高めた。

・資金調達相談会

きらぼし銀行の共催により、金融機関との関係づくりを目的とした全体説明会および個別相談会を開催

・知財戦略相談会

INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）との連携により、スタートアップ向け「知的財産の基礎知識セミナー」を開催

Ⅱ - 2 指定管理事業（産業振興事業）

1. 産業振興事業

・創業準備層への伴走支援

実施事業	概要・成果
特定創業支援セミナー	経営・販路・財務等の全4回連続講座を2期開催（計31名参加）。全受講およびIM面談修了者15名へ証明書を発行（うち6名が新規開業）
IMによる個別相談支援	年間325件対応（前年297件から増加）。事業計画や資金の壁打ちに加え、外部イベント同伴など実践的な伴走支援を実施
専門家無料相談会	弁護士、社労士、行政書士等を招き実務相談を実施。AI普及に伴う相談フェーズの変化に合わせ、対面の価値を訴求し制度見直しを図る

・創業者層のスキルアップ・経営力強化

セミナー・スクール名	概要・成果
SHIP ビジネスイノベーションスクール	各分野の最前線で活躍する起業家等を講師に全7回開催。 （株）コドモン、（株）アグリゲート、日本フェムテック協会等が登壇）
経営支援セミナー	マネジメントゲームを用いた経営戦略・決算書構造の疑似体験ワークショップ（全2回、計30名参加）
AI 特化型セミナー	「起業家のためのAI活用セミナー」全3回開催。生成AIの基本からSNS集客、AI秘書構築まで体系的に学習。 弁護士による「生成AI業務利用の法的留意点」セミナーも実施

・会員・起業家間の交流促進事業

イベント名	概要・成果
SHIP Talk Salon（小規模交流会）	助成金、Google ビジネスプロフィール、B2B 営業、RPA 超入門などをテーマに毎月開催。スキル向上と協業マッチングを創出
SHIP10 周年記念大交流会	会員、卒業生等 106 名が参加。森澤区長を交えたパネルディスカッション、会員ピッチを実施。記念パンフレット等で施設ブランドを向上
品川区産学官連携フォーラム 2025	「次世代のアントレプレナーシップ」をテーマに産官学で共催（168 名参加）。前刀禎明氏の基調講演、学生ピッチ、学研共催ワーク等を実施
その他の交流企画	「SHIP 冬の大交流会」（74 名参加）、「三拠点合同起業家 meetup」（大崎・西大井・武蔵小山合同）、「パパ交流会」「ハロウィン・バレンタイン企画」等を開催

2. 工房関連事業

・ものづくり相談および工作機械の活用支援

相談対応実績：年間 566 件。

内容の変化：試作相談に加え、3D スキャナを利用したリバーズエンジニアリングや、テキスト生成 AI を活用した 3D データ生成など、AI 技術を絡めた高度な相談が増加。

・最新情報発信「SHIP Creativity Day」

テーマ例	概要・成果
AI×3D モデル生成	「誰でも始められる 3D モデル生成 AI の世界」「2D 図面→3D CAD 生成 AI の最前線」などを通じ、AI を活用した設計フローを解説
最新機種・トレンド解説	「Raise3D Pro3HS 徹底解説」「Bambu Lab で変わる 3D プリントの世界」「海外最新動向（Formnext 等）」を通じ、次世代高速造形のノウハウを提供

Ⅱ - 3 区受託事業

・品川パビリオン（専門展示会）共同出展事業

展示会名	概要・成果
第 30 回 機械要素技術展（幕張）	品川区ブース「品川パビリオン」を構築し、区内企業 12 社と共同出展。全国・海外へ向けた技術アピールと販路拡大を支援
第 28 回 機械要素技術展（大阪）	区内企業 6 社と共同出展。関西・西日本エリアにおける品川区企業の知名度向上と新規市場開拓に貢献

・モンゴル高専との科学技術交流事業

実施内容	概要・成果
インターンシップ受入（前期・後期）	区内 IT・製造業企業への受入を実施。面接会、日本語能力評価、事前講習を実施。開始式では SHIP 工房体験や日本でのコミュニケーション講義を提供し、終了時には成果発表会を開催
モンゴル定着支援日本語研修	就職後 1～3 年の卒業生を対象に、工場での専門用語学習や相互発表を行い、長期的な定着を支援

・女性デジタル人材マッチング支援事業

実施内容	概要・成果
新しい働き方セミナー	離職中等の女性を対象に、森澤区長の挨拶、アンコンシャスバイアスワーク、卒業生とのパネルディスカッションを実施（計 45 名参加）。
女性 IT ジョブフェア in 品川	区内 IT 企業 5 社が参加するマッチングイベントを共催し、具体的な就業機会を提供。

Ⅲ 施設管理

・事業運営の総括

SHIP 設立 10 周年・指定管理第三期初年度として、ソフト・ハード両面から施設の魅力向上を推進。対面イベントの需要増を捉え、各施設の利用実績は極めて高い水準を記録。

・施設の利用進捗状況および実績（令和 8 年 3 月 31 日現在）

施設名	利用実績・稼働率
イベントホール（3 階）	稼働率：86.1%（298 日／346 日）
オープンラウンジ（4 階）	法人：63 社 個人：161 名 ワンタイム：1,748 名
オフィス（4 階・全 16 室）	稼働率：97.4%
工房（4 階）	機器利用：1,460 時間 講習・サポート：300 時間
貸し会議室（4 階）	合計：6,795 時間